



JA紀南 気象データ

令和7年 すもも栽培暦

JA 紀南
西牟婁振興局農業水産振興課監修
令和6年11月作成

★土壌診断を行い、適正施肥に努めよう！

農業中毒の相談は日本中毒情報センター(大阪)TEL072-777-2499(24時間対応)

肥 培 管 理		月	防 除			重点作業	
大石早生	ブランクット・ソルダム		病害虫名	薬剤名	倍数	使用基準 収穫前日数 使用回数	休眠期 開花・結実期 発芽・新梢伸長期 花芽分化期 休眠期
〈実肥〉4月下旬~5月上旬		1					
微量要素入化成408 40kg (14-10-8) 又は 高度化成403 40kg (14-10-13)		2	ふくろみ病	トレノックスフロアブル (アピオン-E1000倍加用)	500倍	14日前まで 3回以内	
〈礼肥〉6月下旬		3	(発芽直前) アブラムシ類	モスピラン顆粒(溶)	4000倍	前日まで 3回以内	開花・結実期 結実安定対策 人工授粉 交配用の枝さし ミツバチの放飼 凍霜害対策 防霜ファン 摘果 芽かき
FTE入り 梅すももペレット 100kg (7-6-7) 又は 有機化成特A805 80kg (10-6-7)				黒斑病	ICボルドー412 又は Zボルドー	30倍 500倍	
〈元肥〉10月		4	灰星病	ロブラール(水)	1500倍	前日まで 3回以内	発芽・新梢伸長期 大石早生の熟期促進 透湿性マルチの被覆 徒長枝の整理
FTE入り 梅すももペレット 100kg (7-6-7) 又は 有機化成特A805 80kg (10-6-7)				カイガラムシ類(幼虫)	アブロードフロアブル (アピオン-E1000倍加用)	1000倍	
〈元肥〉10月		5	(落弁期) 灰星病	ベルコート(水)	2000倍	3日前まで 3回以内	大石収穫期 大石収穫期 ブランクット・ソルダム収穫期 夏季剪定
FTE入り 梅すももペレット 100kg (7-6-7) 又は 有機化成特A805 80kg (10-6-7)				黒斑病	マイコシールド	2000倍 (倍数注意)	
〈元肥〉10月		6	灰星病	スコア顆粒(水)	2000倍	前日まで 2回以内	花芽分化期 土壌診断
FTE入り 梅すももペレット 140kg (7-6-7) 又は FTE入り 梅有機化成S860 140kg (8-6-10)				灰星病 (ブランクット・ソルダム)	インダーフロアブル	5000倍	
土づくり 10~12月		8	シンクイムシ	エクシレルSE	5000倍	前日まで 3回以内	休眠期 老木園の若返り改植 密植園の間伐 整枝・剪定 主枝は2~3本とする 太枝の間引の徹底
基準設計 バーク堆肥 2~4t 苦土石灰 140kg BMようりん 60kg FTE 6kg 有機質:プロ有機 100袋 ハイフミン特号A 200kg 腐植:アツミン 200kg リン酸:リンスター 60kg 石灰:セルカ 160kg 又は 苦土セルカ2号 160kg				カイガラムシ類(幼虫)	アブロードフロアブル (アピオン-E1000倍加用)	1000倍	
基礎設計		9	黒斑病	1回目 アグレプト(水) 1000倍 2回目 (1回目散布から約7日後) ICボルドー412 30倍 又は ムッシュボルドーDF 500倍	30日前まで 2回以内 — —	— — —	土づくり 老木園の若返り改植 密植園の間伐 整枝・剪定 主枝は2~3本とする 太枝の間引の徹底
有機質:プロ有機 100袋 ハイフミン特号A 200kg 腐植:アツミン 200kg リン酸:リンスター 60kg 石灰:セルカ 160kg 又は 苦土セルカ2号 160kg				白紋羽病	フロンスайдSC	500倍	

- 多雨が予想される場合はアピオン-E(1000倍)を加用する(薬斑注意)。
- 薬害軽減のため、Zボルドーにはクレフノン(200倍)を加用する。
- アグレプト(水)(ストレプトマイシン剤)は、梅での収穫前日数が90日前までになるため注意する。

雑草防除	薬剤名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量 (散布水量)	使用回数
バスタ液剤		1年生雑草	収穫前日まで	300~500ml (100~150ℓ)	3回以内
		多年生雑草	雑草生育期	500~1000ml (100~150ℓ)	
ザクサ液剤		1年生雑草	収穫前日まで	300~500ml (100~150ℓ)	3回以内
		多年生雑草	雑草生育期	500~1000ml (100~150ℓ)	
タッチダウンiQ		1年生雑草	収穫5日前まで	250~500ml (25~100ℓ)	3回以内
		多年生雑草	雑草生育期	500~1000ml (25~100ℓ)	
ラウンドアップマックスロード		1年生雑草	収穫7日前まで	200~500ml (50~100ℓ)	3回以内
		多年生雑草	雑草生育期	500~1000ml (50~100ℓ)	

- 防除の注意点
- 隣接園、早期収穫品種への飛散に注意。
 - ドリフト対策として、防風垣・防風ネットの整備を行う。
 - 防除器具の洗浄を行う。
 - 本暦は紀南地域の基本的な栽培暦です。栽培管理は気象条件や生育状況により調整して下さい。
 - 生産履歴の記帳は収穫後より始まります。

- タッチダウンiQ、ラウンドアップマックスロードの使用回数は、両剤を合わせて3回以内。
- バスタ液剤、ザクサ液剤の使用回数は両剤を合わせて3回以内。
- 本防除記載の農薬の登録内容は令和6年10月末日現在です。